



第75回大阪全国大会速報

大会テーマ

い ち ね ん つ う て ん

一念通天 ~協励の原点、そしてこれからも~

開催日 2024年(令和6年)6月8日(土)、9日(日)

会場 大会:大阪国際交流センター 懇親夕食会:シェラトン都ホテル大阪

2024年(令和6年)6月8日(土)、9日(日)、大阪府大阪市にある大阪国際交流センターにおいて第75回大阪全国大会が開催され、総勢881名が参加した。今回は両日とも対面参加による開催となった。

大阪国際交流センターに入館すると、1階アトリウムで賛助メーカーによる展示が行われており、その展示会場を通過して大会会場に向かう。第1日は2階大会議室「さくら」において第75回定時総会、混合協励会が行われた。午後5時、辻伸常任理事の司会で大会はスタートした。協励会歌の斉唱、協励十訓の唱和のあと、佐野智会長が挨拶を行い、その後議長に英義雄北陸合同支部長、副議長に山口敦士大阪合同

支部長が選出され、総会に移った。

小西弘晃常任理事から令和5年度事業、収支決算について報告があり、古山二郎監事から監査報告、佐野会長から令和6・7年度役員についての説明があった。採決の結果、原案どおり可決され、閉会した。選任された役員は2階「会議室A・B」において臨時理事会を開催し、互選のうえ、会長、副会長、常任理事を選定した。

休憩後に行われた混合協励会の司会は小西常任理事が務め、「先生の好きな選定品ベスト3・伸ばしたい選定品プラス1」をテーマに、熱く語り合った。混協終了後、討議した内容を踏まえ、参加者を代表して大阪南・薬局白十字の佐野友紀先生と山形・とがみ薬

局の木川宏効先生が決意発表をした。そして協励五省を唱和し、大会第1日が締めくくられた。

その後シェラトン都ホテル大阪の4階「浪速の間」に会場を移動し、懇親夕食会が行われた。辻常任理事の司会で始まり、佐野会長が挨拶、総会の議長を務めた英北陸合同支部長の発声で乾杯を行った。懇親夕食会に参加した約460名は旧交を温め楽しいひとときを過ごし、笹谷則之副会長の中締めで終了となった。

第2日は午前9時20分より、大阪国際交流センター大ホールにおいて2014年(平成26年)5月から2024年(令和6年)4月までの10年間に、惜しくも逝去された288名の物故会員に対



第75回定時総会



令和6・7年度理事・監事候補の紹介



混合協励会



懇親夕食会で乾杯の発声をする英義雄北陸合同支部長



歓談する参加者



会長挨拶 佐野智会長



中締めをする笹谷則之副会長



追悼式



会長挨拶 佐野智会長



組織室分科会



経営室分科会



事業室分科会



特別講演「大家族 支え愛 見守り愛 励まし愛」 西川ヘレン氏



展示

する追悼式が執り行われた。永島正敏常任理事の司会で、最初に佐野会長による追悼の言葉が述べられ、本部役員、合同支部長が会員を代表して献花を行い、物故会員の遺徳をしのいだ。

休憩のあと、高橋善三常任理事の指揮、先導による国歌、協励会歌斉唱、協励十訓の唱和が行われた。佐野会長の挨拶に続き、公益社団法人日本薬剤師会会長である山本信夫さま、参議院議員の衛藤晟一さま、同本田頭子さま、同神谷政幸さま、大阪府副知事の渡邊繁樹さま、一般社団法人大阪府薬剤師会会長の乾英夫さまから来賓挨拶をいただいたあと表彰式に移り、功労者に会長表彰、会長感謝状が授与された。

引き続き各会場に分かれて分科会

が開催された。1階「大ホール」では組織室分科会「協励式ケースレポート」、2階大会議室「さくら」では経営室分科会「在宅医療」、2階「小ホール」では事業室分科会「日邦薬品・日邦商事は、私たちが愛して育てる会社」と、それぞれのテーマのもと行われた。

分科会終了後、参加者は昼食をとり、賛助メーカーによる展示を熱心に見て回っていた。午後2時から、西川ヘレン氏による特別講演が「大家族 支え愛 見守り愛 励まし愛」と題して行われた。薬局は介護にかかわる職種の一つだが、介護をする家族、介護を受ける側の気持ちに接することができる貴重なお話だった。

好評のうちに特別講演が終わり、司

会の永島常任理事より第75回大阪全国大会開催中にご協力をいただいたドネーション16万2,000円、協励特別災害基金26万3,417円の発表があり、感謝の意が述べられた。そして芝田弘之副会長が閉会の挨拶を行い、八田三紀常任理事の指揮により協励ソング「またの日を」を唱和し、第75回大阪全国大会は終了した。

2025年(令和7年)6月21日(土)、22日(日)に東京ビッグサイト(会議棟)にて開催が予定されている第76回東京全国大会での再会を約し、大阪全国大会は散会した。

なお本全国大会の詳細は次号に掲載予定。